

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

1 産地基幹施設等支援タイプ

(都道府県名：島根県 R5年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 類別	事業実施後の状況①													メニュー② 類別	事業実施後の状況②													成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考						
			成果目標の具体的な内容①														成果目標の具体的な内容②																交付金	都道府県費	市町村費	その他										
			計画時(平成25~27年)	1年後(平成29年)	2年後(平成30年)	3年後(令和元年)	4年後(令和2年)	5年後(令和3年)	最終年(令和4年)	目標値(令和4年)	達成率	計画時(平成25~27年)	1年後(平成29年)	2年後(平成30年)	3年後(令和元年)		4年後(令和2年)	5年後(令和3年)	最終年(令和4年)	目標値(令和4年)	達成率																									
浜田市	株式会社浜田メイプル牧場	畜産生産基盤育成強化 乳用牛	154	生乳100kgあたり労働時間を58.8%削減	労働時間 5.178h	労働時間 5.618h	労働時間 47.750h	労働時間 58.089h	労働時間 60.947h	労働時間 65.588h	労働時間 72.870h	労働時間 72.870h	111.5%	65.6%削減	畜産生産基盤育成強化 乳用牛	183	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が2,413%増加	【内訳】 【生乳】 45,383千円 【子牛】 4,727千円 【その他】 643千円	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が50,375千円/年	【内訳】 【生乳】 42,983千円 【子牛】 6,820千円 【その他】 571千円	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が55,467千円/年	【内訳】 【生乳】 46,721千円 【子牛】 8,696千円 【その他】 50千円	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が424,223千円	【内訳】 【生乳】 371,880千円 【子牛】 66,344千円	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が953,587千円	【内訳】 【生乳】 8,072千円 【子牛】 161,224千円 【その他】 80,710千円	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が1,179,804千円	【内訳】 【生乳】 7,079千円 【子牛】 237,908千円 【その他】 81,029千円	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が1,498,741千円	【内訳】 【生乳】 1,138,368千円 【子牛】 176,073千円 【その他】 152,602千円	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が1,533,704千円	【内訳】 【生乳】 1,205,029千円 【子牛】 176,073千円 【その他】 152,602千円	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が1,275,200千円	【内訳】 【生乳】 904,812千円 【子牛】 330,397千円 【その他】 643千円	797,040,000	342,654,000	0	0	454,386,000	平成30年3月30日	労働時間は、搾乳ロボットの導入等、省力化に資する設備導入により削減され、目標値に達した。	達成率は111.5%と目標値に達した。	生産額のうち、子牛の販売額は、市場価格の下落により目標を下回ったものの、施設整備により経産牛の飼養頭数が計画どおり増頭でき、乳量が大きく増加したことにより、目標値に達した。	労働時間については、搾乳ロボットの導入等、省力化に資する設備導入により削減され、目標値に達した。	達成率は111.5%と目標値に達した。	生産額のうち、子牛の販売額は、市場価格の下落により目標を下回ったものの、施設整備により経産牛の飼養頭数が計画どおり増頭でき、乳量が大きく増加したことにより、目標値に達した。
				生乳100kgあたり労働時間を58.8%削減	労働時間 5.178h	労働時間 5.618h	労働時間 47.750h	労働時間 58.089h	労働時間 60.947h	労働時間 65.588h	労働時間 72.870h	労働時間 72.870h	111.5%	65.6%削減	畜産生産基盤育成強化 乳用牛	183	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が2,413%増加	【内訳】 【生乳】 45,383千円 【子牛】 4,727千円 【その他】 643千円	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が50,375千円/年	【内訳】 【生乳】 42,983千円 【子牛】 6,820千円 【その他】 571千円	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が55,467千円/年	【内訳】 【生乳】 46,721千円 【子牛】 8,696千円 【その他】 50千円	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が424,223千円	【内訳】 【生乳】 371,880千円 【子牛】 66,344千円	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が953,587千円	【内訳】 【生乳】 8,072千円 【子牛】 161,224千円 【その他】 80,710千円	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が1,179,804千円	【内訳】 【生乳】 7,079千円 【子牛】 237,908千円 【その他】 81,029千円	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が1,498,741千円	【内訳】 【生乳】 1,138,368千円 【子牛】 176,073千円 【その他】 152,602千円	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が1,533,704千円	【内訳】 【生乳】 1,205,029千円 【子牛】 176,073千円 【その他】 152,602千円	当該地域受益農家(JAしまねいわみ中央管内農家)の生産額が1,275,200千円	【内訳】 【生乳】 904,812千円 【子牛】 330,397千円 【その他】 643千円	2,589,320,877	1,109,717,000	0	0	1,479,603,877	平成31年3月28日						

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

1 産地基幹施設等支援タイプ

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(島根県 令和4年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	類別	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	類別	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
					計画時(令和元年)	1年後(令和2年)	2年後(令和3年)	3年後(令和4年)	目標値(令和4年)	達成率					計画時(令和元年)	1年後(令和2年)	2年後(令和3年)	3年後(令和4年)	目標値(令和4年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
松江市	ライスフィールド株式会社	土地利 用型作 物(稲)	1	事業実施地区において中食・外食向けの原料用等米の契約栽培の取組が30.2ポイント増加	41.8% (契約栽培面積55.2ha/132.2ha)	49.8% (契約栽培面積71.0ha/142.6ha)	59.2% (契約栽培面積105.4ha/178.0ha)	73.8% (契約栽培面積146.7ha/198.8ha)	72.0% (契約栽培面積179.6ha/249.5ha)	105.9%		9	事業実施地区における高温耐性品種(「きぬむすめ」、「つや姫」等)の作付割合が5.2ポイント向上	44.9% (高温耐性品種の作付面積59.3ha/132.2ha)	47.5% (高温耐性品種の作付面積67.7ha/142.6ha)	48.8% (高温耐性品種の作付面積86.9ha/178.0ha)	35.9% (高温耐性品種の作付面積71.3ha/198.8ha)	50.1% (高温耐性品種の作付面積125.0ha/249.5ha)	-173.1%	高温耐性品種(「きぬむすめ」、「つや姫」等)の作付割合が9.0ポイント減少した。	乾燥調製施設整備 建屋 1,375㎡ (1棟) 乾燥機 (10t×8基) 調製施設一式	524,724,960	238,511,000	0	0	286,213,960	令和3年3月29日	契約栽培米の割合については、米の乾燥調製施設の整備により多品種の受入れ態勢が整ったので実需が求める品種の作付が可能になり、達成率105.9%と目標を達成した。  高温耐性品種の作付割合については、順調に作付割合を増やしていたが、令和2年～令和4年にかけてはコロナ禍の影響で「きぬむすめ」についての業務用仕向けの需要が激減したことにより作付面積を予定どおり増やすことができなかった。また、令和4年産で取引先から「コシヒカリ」の大口発注があり、「コシヒカリ」の作付面積を大幅に増加せざるを得なくなった。以上により、高温耐性品種の作付割合が減少したため、達成率が-173.1%と目標未達成となった。  現在は「きぬむすめ」の業務用仕向けの需要が回復傾向にあり、「きぬむすめ」の比率拡大に向けて「コシヒカリ」からの転換を取引先に提案しつつ、集積により経営面積の拡大に取り組む。  また、主食用水稻作付面積について、地権者との交渉に時間を要し、想定より農地集積が進まず、生産量を確保できなかった。地権者である地域の農家との交渉が円滑に進むよう働きかけて、農地集積を進めていく。	契約栽培米の割合については、米の乾燥調製施設の整備により多品種の受入れ態勢が整ったので実需が求める品種の作付が可能になり、達成率105.9%と目標を達成した。  高温耐性品種の作付割合については、順調に作付割合を増やしていたが、令和2年～令和4年にかけてはコロナ禍の影響で「きぬむすめ」についての業務用仕向けの需要が激減したことにより作付面積を予定どおり増やすことができなかった。また、令和4年産で取引先から「コシヒカリ」の大口発注があり、「コシヒカリ」の作付面積を大幅に増加せざるを得なくなった。以上により、高温耐性品種の作付割合が減少したため、達成率が-173.1%と目標未達成となった。  現在は「きぬむすめ」の業務用仕向けの需要が回復傾向にあり、「きぬむすめ」の比率拡大に向けて「コシヒカリ」からの転換を取引先に提案しつつ、集積により経営面積の拡大に取り組む。  また、主食用水稻作付面積について、地権者との交渉に時間を要し、想定より農地集積が進まず、生産量を確保できなかった。地権者である地域の農家との交渉が円滑に進むよう働きかけて、農地集積を進めるよう取引主体に指導する。		

都道府県平均達成率	75.0%	総合 所見	県平均達成率は未達成となった。 未達成となった主な要因は、コロナ禍の影響で「きぬむすめ」の業務用仕向け需要が激減したことにより、高温耐性品種の作付面積の拡大が計画どおりできなかったことであるため、「コシヒカリ」からの転換を取引先に提案しつつ、農地集積により高温耐性品種の経営面積の拡大に取り組むよう指導を継続して行う。
-----------	-------	----------	--

- (注) 1 別紙様式1号の1の(2)の1に準じて作成すること。  
 2 要綱第3の2の(2)のアの(ア)のただし書きの場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。